

Rinnai

証券コード 5947

リンナイ株主通信

第26号

第57期事業報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日



<http://www.rinnai.co.jp/>

株主の皆さまへ



代表取締役会長 内藤 進



代表取締役社長 内藤 弘康

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第57期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、ご説明申し上げます。

当期における国内経済は、個人消費や雇用情勢に厳しさが残るものの、好調な企業業績を背景に設備投資が増加するなど、景気は引き続き拡大を続けております。当業界の動向は、新設住宅着工戸数が堅調な推移を続けるなかで、電化住宅比率の増加から新規のガス機器需要は減少基調となっております。一方、ガス関係業界全体での長期使用製品の取り替え促進施策によって、より安全な機器への買替えが進む動きも出てまいりました。

このような状況のもとで、当社グループは平成18年度を初年度とする中期経営計画「Vシフトプラン」を策定し、重点改革を柱に3年で体質転換を図る取り組みをスタートいたしました。お客さまへの快適な暮らしの提供を企業使命とし、安全・安心・快適性の実現に向けた商品戦略、販売戦略を推し進めてまいりました。特に後半は、消費者の製品に対する安全意識の高まり、行政による安全規制強化の動きのなかで、商品のライフサイクルにわたってお客さまの安全・安心をサポートする取り組みを強化いたしました。

販売面では、国内の暖冬によるマイナス影響はありましたが、高付加価値商品戦略、買替需要増によって増収を確保いたしました。海外では、北米、アジア諸国での順調な業容の拡大と円安効果もあり、好調に推移いたしました。

損益面では、素材価格が一年を通して高値で推移し、原価アップの要因となりましたが、小売価格の改定、中期経営計画の重点課題である経営資源の戦略的配分によるコスト抑制効果と海外での増収効果によって利益は改善方向に向かいました。

この結果、当期の連結売上高は前期比10.3%増の2,347億97百万円、連結営業利益は前期比24.2%増の127億39百万円、連結経常利益は前期比15.0%増の135億21百万円、連結当期純利益につきましては小型湯沸器の安全対策にかかる点検費用として引当金を含め15億97百万円の計上がありました。前期比19.9%増の62億83百万円となりました。

なお、期末配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき、配当性向、株主資本利益率、財務状況などを総合的に勘案のうえ、1株につき16円とし、年間では30円と前期に比べ2円の増配とさせていただきます。

当社は今後も「品質こそ我が命」を企業理念として、役職員一同、社業発展に一層努力いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月
代表取締役会長

代表取締役社長

内藤 進

内藤弘康



高度安全化と環境対応が 商品開発の重要テーマです。

平成19年3月期の概況

増収増益の主な要因とは？

ガス機器業界は、新設住宅着工戸数が微増にとどまる一方、オール電化攻勢に加え、予想以上に素材価格が高騰するなど厳しい環境となりました。こうしたなか、当社は業界平均を上回り、連結売上高が前期比10.3%増、連結当期純利益が前期比19.9%増を記録しました。この要因としては、海外売上的好調、素材価格の高騰に伴う価格改定（平成18年7月1日実施）、そして国内では平成18年4月からスタートした中期経営計画の基本テーマである“高付加価値商品戦略”や“シェア至上主義からの脱却”という基本的な営業戦略の成果などがあります。また、このような当社の方向性を表す例として、厨房機器では平成18年3月にすべての二口コンロ以上の片側バーナーに調理油過熱防止装置を取り付けたことが挙げられます。量販店を中心に販売されるガスコンロは価格競争ではたいへん厳しいものがありますが、現在は価格だけでなく、改めて品質面で当社の厨房製品をご選択いただくことにより、売上を伸ばしています。

小型湯沸器の事故について

最も反省すべき点とは？

当社が痛感いたしましたのは、“小型湯沸器の使用時には換気が必要である”という認識が、住環境や年代による意識の変化に伴い、必ずしもすべてのお客さまに行き渡っていないという点です。当社を含むメーカーサイドとお客さまとの意識が大きく乖離していたことを非常に重く受け止め、何よりも当社が反省すべき点であると認識しております。

事故直後からは、テレビコマーシャルならびに新聞広告等を通じて換気の必要性を訴えるとともに、該当機種のみならず小型湯沸器全般に範囲を広げて無料点検に対応しております。



国内コンデンシング給湯機器

世界最高水準の熱効率95%を実現したエコジョーズ（潜熱回収型高効率給湯暖房機）。

ヨーロッパで最も有名なネフィット社製コンデンシングボイラーに当社のバーナー技術が採用されるなど、リンナイの環境対応技術は世界的に高い評価を獲得しています。

情報開示は十分だったのでしょうか？

当社はガス機器メーカーの第一人者として、“品質こそ我が命”を合言葉に何よりも品質重視の姿勢を貫いてまいりました。同時に、企業としてコンプライアンスの徹底を図り、当社が把握した事故についてはすべて経済産業省へ報告しております。一方で“利用者の誤使用による事故”の場合は、当社自身の努力だけでは情報が入手できないケースがあったことも事実です。

今回の事故報道を受け、当社は平成19年4月1日付で社長直轄の品質保証本部ならびに同本部内に事故情報管理室を新設いたしました。事故情報管理室では、製品事故情報の事実調査からトップ報告まで事故情報の一元管理を行い、当社製品の不備であるか否かにかかわらず積極的に事故情報の収集に努めます。また、同日付で管理本部総務部内に広報室を新設いたしました。これらの体制整備により、社会の要請に応え、さらに迅速な情報開示と利用者の皆さまへの注意喚起を実行してまいります。

業績への影響は？

短期的には点検費用および注意喚起のための広告費用等が増加するものの、売上の動向には大きな変化はありませんでした。事故が起きた小型湯沸器の売上高は全体の3%弱であり、中長期的に見て事故報道による当社業績への影響は少ないと予測しております。

中期経営計画

国内市場での注力テーマは？

国内においては、高度安全化と環境対応の二つが重要テーマです。厨房機器では、業界全体でガスコンロの全バーナーに調理油過熱防止装置の取り付けが義務化される平成20年4月に向けて、対応商品を開発する予定です。また給湯機器では、浴室暖房乾燥機やミストサウナなど温水機器端末のシステム商品が好評であり、今後も健康や快適性を追求した商品開発を行ってまいります。一方、環境規制に厳しいヨーロッパのドイツ・オラ

北米市場向けリンナイ給湯器

米国では、従来のガス式・電気式双方の貯湯式給湯器に比べて“熱効率が高く”“設定温度のお湯が出て”“湯切れがなく、お湯が出るまで時間もかからない”リンナイブランドのガス瞬間型給湯器が人気を博しています。オール電化攻勢が目立つ国内でも、給湯機器が戦略商品として位置付けられるゆえんです。



ンダ・イギリスではすでに高効率型ガスボイラーがほぼ100%のシェアを占めており、省エネルギーが重要テーマである国内でも、高効率コンデンシング給湯器の売上比率を高めていきたいと考えています。

中期経営計画（平成18年4月～平成21年3月）

基本テーマ：「価値観の変革、ビジネスの変革、人材の変革」

経営目標： 連結売上高2,800億円、連結ROE8%を目指す。

	平成19年 3月期 (実績)	平成20年 3月期 (計画)	平成21年 3月期 (目標)
連結売上高	2,348 億円	2,500 億円	2,800 億円
国内	1,513 億円	1,550 億円	1,560 億円
海外	834 億円	950 億円	1,240 億円
連結営業利益	127 億円	150 億円	200 億円
連結ROE	4.7%	6.0%	8.0%

海外の売上比率が急速に高まっていますね？

米国市場では貯湯式給湯器が主流でしたが、リンナイブランドのガス瞬間型給湯器の利便性が一般消費者に急速に広まり、平成17年から平成18年の売上高は前期比30～40%増と海外売り上げの牽引役となっています。

また、リンナイブランドのガス瞬間型給湯器はヨーロッパ南部を中心に高いニーズがあります。当社は平成19年3月にイタリアの販売代理店アクア社の株式を取得しました。今後は、同社を南ヨーロッパの販売拠点として、イタリアおよびスペインなどで給湯器を中心にリンナイブランド製品が一層浸透するものと期待しています。



リンナイオーストラリア(株) 太陽熱温水器

オーストラリアやニュージーランドでは天然資源に代わるさまざまな熱エネルギーへの取り組みが盛んに行われています。リンナイオーストラリア(株)では、太陽熱温水器をアデレード工場で製造し、販売しています。



中国、ロシア市場での展望は？

北米と並ぶ戦略市場である中国では、上海林内有限公司、林内香港有限公司を中心に前期比約20%増と着実に売り上げを伸ばしています。現地のガス会社は日本と同様に高品質の製品を求める傾向が強く、リンナイの技術力に対してさらに期待が高まっています。

ロシア市場においても、平成18年2月にモスクワにサービス拠点としてリンナイサービス（MS）株式会社を設立するなど、着実に市場開拓を進めています。

リンナイブランドの基本方針とは？

消費者のニーズはますます品質重視となっており、とにかく安心して使っていただける機器を提供することが基本となります。加えて、グローバルな市場で社会の要請に応えるためには、環境にやさしい製品の提供が不可欠です。そのため、リンナイはガス機器で培った先進の技術力を基盤に、広い視野で熱エネルギー機器の研究開発を行っています。“熱と暮らし”をリンナイの変わらぬテーマに、今後も消費者さらに社会にとって最適な熱エネルギー機器とは何かを追求してまいります。

リンナイトピックス

全コンロバーナーに安心センサーを搭載 ガラストップビルトインコンロを新発売

当社のガラストップビルトインコンロは、平成19年7月以降発売の新製品から、全コンロバーナーに調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置、消し忘れ消火機能、焦げつき自動消火などの安心機能を搭載してまいります。機能性はもちろん、さらに高い安全性を実現しています。



RS78W2A2RSL

ウォーターオープンならではの“おいしさ”と“健康” 「ヘルシオ」がビルトインタイプで新登場！

当社は平成19年4月より、シャープ株式会社との共同開発により、ビルトインタイプのウォーターオープン「ヘルシオ」RKO-30Eを全国で発売しました。(注1)

ヘルシオエンジンの採用により、高火力330℃(注2)・水蒸気濃度約97%を実現しました。熱量の高い過熱水蒸気で脱油・減塩しながらおいしく調理でき、従来は乾燥しがちだったメニューも水分を補いながらしっかりと仕上げます。また、「ヘルシオ」は過熱水蒸気を庫内に充満させて0.5%以下(注3)の低酸素状態で調理し、食品の酸化・細胞破壊を抑え、ビタミンCやビタミンEをキープします。

(注1) ヘルシオはシャープ株式会社の登録商標です。

(注2) オープン庫内吹き出し部最高温度。シャープ株式会社調べ。

(注3) オープン庫内最低酸素濃度。シャープ株式会社調べ。



炎が上質な住空間を演出 国内で新発売、ガス暖炉「アリーバ」

リンナイブランドのガス暖炉は、従来、オーストラリアなどの海外で高い評価を得てきました。このたび、日本でも平成19年4月よりガス暖炉「アリーバ」の発売を開始しました。

炎はリモコンのワンタッチ操作で7段階からお選びいただけます。強制給排気（FF式）によって、高気密の空間でも安心して利用でき、灰も排気も残さないためお手入れの手間がかかりません。



くつろぎのある“家に帰る愉しみ”をつくるガス暖炉として、「アリーバ（到着 Arrivalの造語）」と名づけました。

部門別売上高の概要

● 厨房機器

国内では、オール電化や同業他社の攻勢によりビルトインコンロは前年並みでしたが、テーブルコンロは調理油過熱防止機能付コンロのラインアップの充実により大幅に伸長しました。海外では、韓国においてテーブルコンロの新製品の導入効果が出るなど、アジア各国において好調に推移しました。この結果、厨房機器全体の売上高は前期比13.2%の増加となりました。

● 給湯機器

国内では、省エネ性に優れた高効率給湯器「エコジョーズ」の販売が伸長しており、システム端末商品においては「ミストサウナ機能」付浴室暖房乾燥機・浴室テレビが好調に推移しました。海外では、アメリカにおいて拡大している瞬間型給湯器市場にデザイン性の高い給湯器が浸透するなど対米輸出が伸長し、韓国でも韓国産ボイラーが好調でした。この結果、給湯機器全体の売上高は前期比11.0%の増加となりました。

● 空調機器

国内では、ファンヒーターにおいて「音声メッセージ機能」を搭載した商品を新規投入しましたが、暖冬の影響により販売が伸び悩みました。海外では、オセアニアが堅調に推移しましたが、アメリカにおいて暖冬の影響により暖房機が低調でした。この結果、空調機器全体の売上高は前期比6.7%の減少となりました。

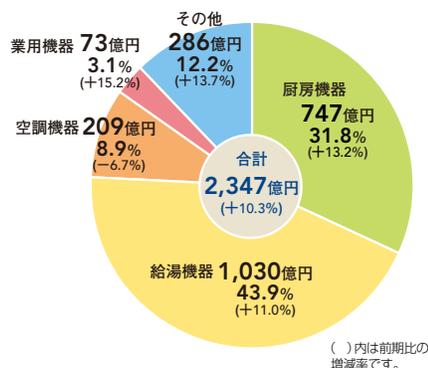
● 業用機器

国内では前期比微増となる一方で、海外における販売が大きく伸長しました。韓国では業用厨房機器の新製品効果があり、オーストラリアでは業用給湯器の販売が順調に推移しました。この結果、業用機器全体の売上高は前期比15.2%の増加となりました。

● その他

国内、海外とも各種部材販売が増加したことや、ガス機器のシステム商品化による設置施工売上が増加したこともあり、売上高は前期比13.7%の増加となりました。

部門別売上高



損益の概要

● 営業利益

国内では、素材価格が一年を通して高値で推移し、原価アップの要因となりましたが、小売価格の改定、中期経営計画の重点課題である経営資源の戦略的配分によるコスト抑制効果と海外での増収効果によって利益は改善方向に向かいました。この結果、連結営業利益は前期比24.2%の増加となりました。

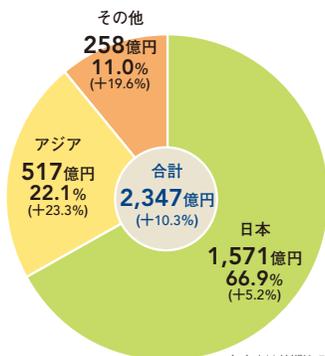
● 経常利益

前期に比べ為替評価益が減少したこともあり、連結経常利益は前期比15.0%の増加となりました。

● 当期純利益

小型湯沸器の安全対策にかかる点検費用を特別損失に計上しましたが、連結当期純利益は前期比19.9%の増加となりました。

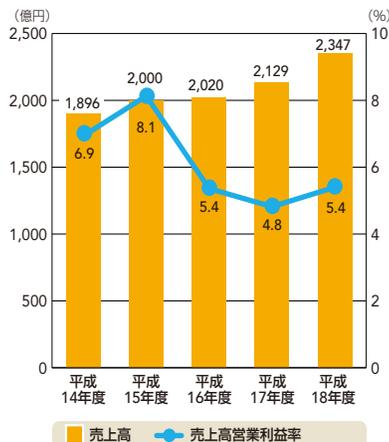
地域別売上高



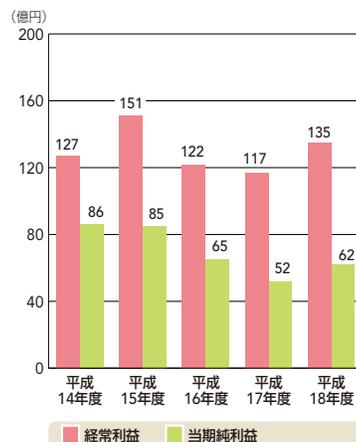
()内は前期比の増減率です。

アジア：韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、ベトナム
 その他：オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ
 注：内部売上高を除いています。

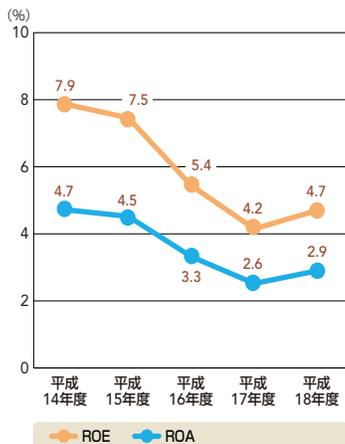
売上高、売上高営業利益率



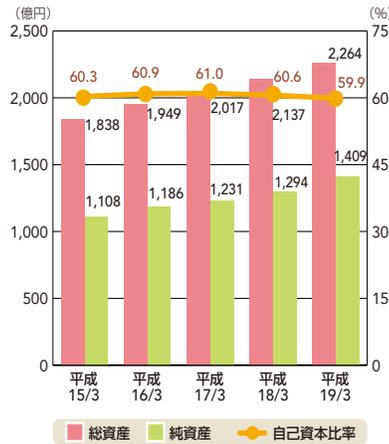
経常利益、当期純利益



ROE、ROA

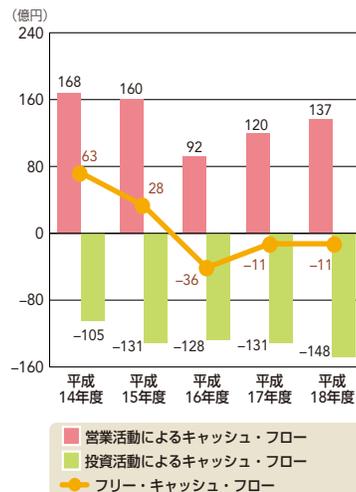


総資産、純資産、自己資本比率



注：1. 平成15/3から平成18/3までは資本の部合計、会社法の施行に伴い平成19/3からは純資産の部合計の数値を表示しています。
 2. 自己資本比率について、平成19/3からは純資産から少数株主持分を控除した数値を用いて計算しています。

フリー・キャッシュ・フロー



注：フリー・キャッシュ・フロー＝
 営業活動によるキャッシュ・フロー－
 投資活動によるキャッシュ・フロー

連結貸借対照表 (単位：百万円)

当期 (平成19年3月31日現在)

前期 (平成18年3月31日現在)

	当期	前期		当期	前期
資産の部			負債の部		
流動資産	135,863	131,039	流動負債	79,498	68,644
現金及び預金	22,521	19,029	支払手形及び買掛金	42,552	42,492
受取手形及び売掛金	67,338	63,818	短期借入金	17,365	10,844
有価証券	15,629	20,845	未払金	10,304	8,452
たな卸資産	28,164	24,222	未払消費税等	513	344
繰延税金資産	2,611	1,816	未払法人税等	3,418	1,594
その他	1,931	2,531	賞与引当金	2,290	1,979
貸倒引当金	△2,332	△1,224	点検費用等引当金	500	—
固定資産	90,550	82,737	その他	2,553	2,937
有形固定資産	45,306	43,611	固定負債	6,002	10,973
建物及び構築物	15,116	14,928	長期借入金	647	5,268
機械装置及び運搬具	9,230	8,983	繰延税金負債	14	2
工具器具及び備品	6,763	6,297	退職給付引当金	2,781	2,956
土地	13,483	12,499	役員退職慰労金引当金	1,420	1,736
建設仮勘定	712	901	その他	1,138	1,009
無形固定資産	1,201	951	負債合計	85,500	79,617
投資その他の資産	44,041	38,173	少数株主持分		
投資有価証券	32,797	25,862	少数株主持分	—	4,661
出資金	964	519	資本の部		
長期貸付金	12	17	資本金	—	6,459
繰延税金資産	1,736	2,635	資本剰余金	—	8,719
その他	9,234	9,391	利益剰余金	—	112,918
貸倒引当金	△702	△252	その他有価証券評価差額金	—	656
			為替換算調整勘定	—	838
			自己株式	—	△94
			資本合計	—	129,497
			負債、少数株主持分及び資本合計	—	213,777
			純資産の部		
			株主資本	133,254	—
			資本金	6,459	—
			資本剰余金	8,719	—
			利益剰余金	118,185	—
			自己株式	△109	—
			評価・換算差額等	2,429	—
			その他有価証券評価差額金	460	—
			為替換算調整勘定	1,968	—
			少数株主持分	5,229	—
			純資産合計	140,913	—
資産合計	226,413	213,777	負債 純資産合計	226,413	—

連結損益計算書 (単位：百万円)当期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
前期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

	当期	前期
売上高	234,797	212,947
売上原価	172,227	157,000
売上総利益	62,569	55,947
販売費及び一般管理費	49,830	45,686
営業利益	12,739	10,260
営業外収益	2,157	2,679
営業外費用	1,374	1,183
経常利益	13,521	11,756
特別利益	637	656
特別損失	2,277	2,987
税金等調整前当期純利益	11,881	9,425
法人税、住民税及び事業税	5,473	3,605
過年度法人税等	—	280
法人税等調整額	199	481
少数株主損失 (△)	△74	△184
当期純利益	6,283	5,242

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)当期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
前期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,717	12,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,825	△13,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△658	△458
現金及び現金同等物の期末残高	30,034	31,899

連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

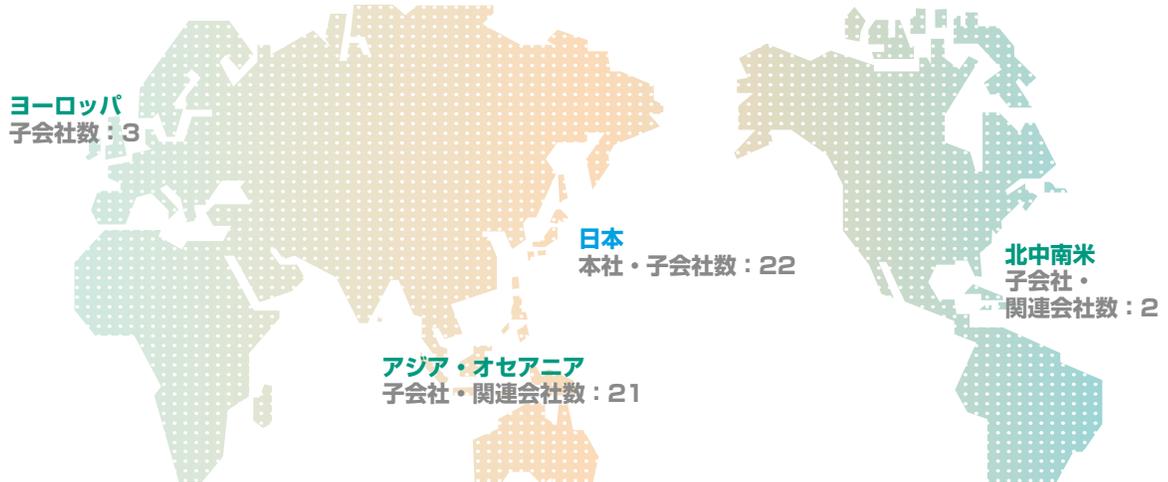
	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成18年3月31日残高	6,459	8,719	112,918	△94	128,002
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当 ^(注)	—	—	△758	—	△758
剰余金の配当	—	—	△758	—	△758
利益処分による役員賞与 ^(注)	—	—	△2	—	△2
当期純利益	—	—	6,283	—	6,283
自己株式の取得	—	—	—	△15	△15
自己株式の処分	—	0	—	0	0
新規連結に伴う増加額	—	—	438	—	438
その他	—	—	64	—	64
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	—	0	5,267	△15	5,251
平成19年3月31日残高	6,459	8,719	118,185	△109	133,254

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	656	838	1,494	4,661	134,159
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当 ^(注)	—	—	—	—	△758
剰余金の配当	—	—	—	—	△758
利益処分による役員賞与 ^(注)	—	—	—	—	△2
当期純利益	—	—	—	—	6,283
自己株式の取得	—	—	—	—	△15
自己株式の処分	—	—	—	—	0
新規連結に伴う増加額	—	—	—	—	438
その他	—	—	—	—	64
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)	△195	1,129	934	568	1,502
連結会計年度中の変動額合計	△195	1,129	934	568	6,754
平成19年3月31日残高	460	1,968	2,429	5,229	140,913

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

グローバルネットワーク

平成19年3月末現在、当社グループは、当社（リンナイ株式会社）および子会社43社（国内21社、海外22社）、ならびに関連会社4社（海外4社）、計48社で構成されています。



国内子会社

製品の製造

- (株) 柳澤製作所
- リンナイテクニカ (株)

部品の製造

- アール・ビー・コントロールズ (株)
- リンナイ精機 (株)
- アール・ティ・エンジニアリング (株)
- ジャパンセラミックス (株)
- テクノパーツ (株)
- 能登テック (株)
- アール・ビーテクノ (株)

製品の販売

- リンナイネット (株)
- アール・ジー (株)

製品の販売および設置施工

- リンナイテック札幌 (株)
- リンナイテック東京 (株)
- リンナイテック中部 (株)
- リンナイテック広島 (株)
- リンナイテック東北 (株)
- リンナイテック新潟 (株)
- リンナイテック近畿 (株)
- リンナイテック九州 (株)

その他の事業

- リンナイ企業 (株)
- リンナイテック北陸 (株)

海外子会社・関連会社

持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス(パシフィック) (株)

製品の販売

- リンナイオーストラリア (株)
- 林内香港有限公司
- 広州林内燃具電器有限公司
- リンナイアメリカ (株)
- リンナイUK (株)
- アクア (株)

製品の製造販売

- リンナイニュージーランド (株)
- リンナイコリア (株)
- リンナイタイ (株)
- リンナイインドネシア (株)
- リンナイマレーシア (株)
- 広州名海燃具電器有限公司
- 台湾林内工業股份有限公司
- 上海林内有限公司
- リンナイベトナム (株)
- 伯陶リンナイ機器 (有)
- 上海林博熱能技術有限公司

部品の製造販売

- アール・ビー・コリア (株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- 三国PK精密 (株)
- アール・エス・コリア (株)
- ラニーR・K精密 (株)

その他の事業

- リンナイサービス (MS) (株)
- リンナイシンガポール (株)
- リンナイSM (株)

- 連結子会社
- 持分法適用関連会社
- 非連結子会社
- 持分法非適用関連会社

会社データ

会社概要 (平成19年3月31日現在)

創 業 大正9年9月1日
設 立 昭和25年9月2日
資 本 金 6,459,746,974円
本 社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数 3,199名

国内ネットワーク (平成19年3月31日現在)

工場・センター

大口工場、瀬戸工場、旭工場、愛知工場、部品センター

研究所

技術センター

支社

東北、関東、中部、関西、九州

支店

札幌、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、
静岡、名古屋、大阪、京滋、広島、高松、福岡

営業所・出張所等

北見、釧路、帯広、旭川、函館、青森、八戸、秋田、
盛岡、弘前、山形、酒田、郡山、いわき、福島、上越、
新潟、長岡、水戸、土浦、千葉、松戸、多摩、宇都宮、
埼玉、所沢、越谷、熊谷、高崎、太田、東京、横浜、
厚木、横浜北、山梨、沼津、浜松、長野、松本、上田、
富山、金沢、福井、豊橋、岡崎、愛知、東濃、岐阜、
三重、四日市、滋賀、奈良、和歌山、田辺、京都、
福知山、神戸、姫路、岡山、鳥取、米子、広島、福山、
山口、高松、松山、高知、徳島、北九州、佐賀、長崎、
佐世保、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

役員 (平成19年6月28日現在)

代表取締役会長	内藤 進
代表取締役副会長	林 謙治
代表取締役社長*	内藤 弘康
取締役 専務執行役員	成田 常則
取締役 常務執行役員	増岡 鋼造
取締役 執行役員	小杉 将夫
取 締 役	宮田 務
執行役員	長坂 隆
執行役員	岩田 武四
執行役員	近藤 雄二
執行役員	吉村 定夫
執行役員	飯島 正幸
執行役員	祢津 忠信
執行役員	佐々木静夫
執行役員	小澤 敏典
執行役員	吉田 雄三
執行役員	藺田 享志
執行役員	進士 克彦
執行役員	バーナード エリカ
監査役(常勤)	和里田勝弘
監査役(常勤)	後藤 靖彦
監査役	矢崎 健
監査役	福井 清晃

(注) 1. *印は執行役員を兼務しております。

2. 監査役の矢崎健、福井清晃は、社外監査役であります。

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

株式構成

株式の総数

発行可能株式総数

200,000,000株

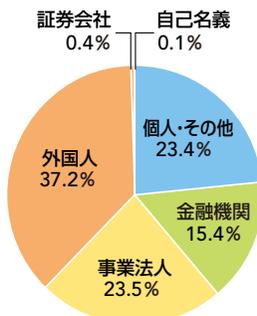
発行済株式数

54,216,463株 (自己株式を含む)

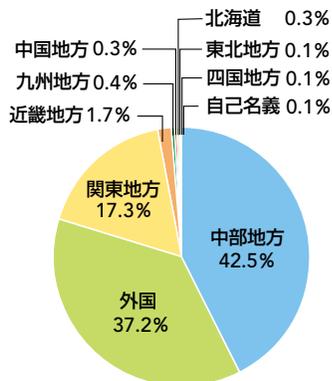
株主数

4,815名

所有者別株式分布



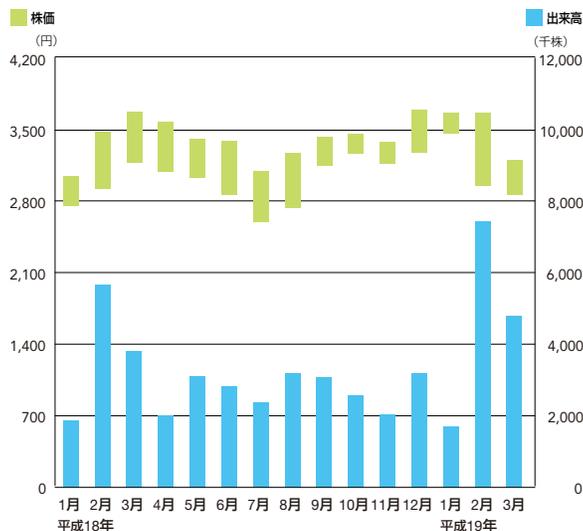
地域別株式所有分布



大株主

株主名	持株数(千株)
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー)	
サブアカウント アメリカン クライアント	6,177
ドイッチェバンク アーゲー フランクフルト	6,006
内藤株式会社	5,415
株式会社好兼商事	4,002
内藤 進	2,677
林 謙治	2,652
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー	
リ ユーエス タックス エグゼンプテド	
ペンション ファンズ	1,883
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,764
日本生命保険相互会社	1,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	767

株価の推移



株主メモ

事業年度末日

毎年3月31日

剰余金の配当は毎年9月30日、3月31日現在の株主に
行います。

単元株式数

100株

公告掲載新聞

日本経済新聞

株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

同事務取扱場所

中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

〒460-8685 名古屋市中区栄3-15-33

フリーダイヤル 0120-78-2031

同取次所

中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

●お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および
配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理
人のフリーダイヤル 0120-87-2031で24時間受付
しております。

株式の上場

東京および名古屋証券取引所 市場第1部

開放式小型湯沸器の ご使用についてのお願い。

必ず換気してください！

開放式小型湯沸器をご使用の際は、必ず換気扇
やレンジフードのファンを回すか、窓を開けて
換気を行うようお願いいたします。



当社ホームページのご紹介

● IR情報

http://www.rinnai.co.jp/ir/main_ir.html

株主・投資家の皆さまへ最新財務データ、決算短信、
株価データ等をご提供します。

Rinnai

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26

TEL 052-361-8211

R2100 PRINTED WITH
SOY INK

本報告書は、古紙配合率100%再生紙とアメリカ
大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。